

第3次富里市子ども読書活動推進計画

(令和7年度～令和11年度)



概要版

◆ 子どもの読書活動の意義

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにすることにつながります。

本市では、平成30年度に「第2次富里市子ども読書活動推進計画」を策定し、家庭、学校、図書館等で相互に連携を図り、全ての子どもたちが自主的に読書活動を行うことができるよう努めてきました。

しかしながら、GIGAスクール構想や読書バリアフリーの推進といった、子どもの教育環境及び読書環境は、第2次推進計画策定時より大きく変化しています。

そこで、第2次推進計画による取組の成果と課題を整理し、子どもを取り巻く環境の変化、国及び県の動向を踏まえ、今後の取組内容を定める「第3次富里市子ども読書活動推進計画」を策定することとしました。

市教育委員会では、本計画に基づき、幼少期からの読書意欲の向上、読書にふれあう機会の提供、読書習慣の定着を推進します。

令和7年1月
富里市教育委員会

第3次富里市子ども読書活動推進計画の概要

1. 基本理念

全ての子どもたちに、読書を通じて、自ら学び「生きる力」を育む

変化する社会・新たな社会を生き抜くために、年齢、性別、障害の有無等にかかわらず自分らしく輝くための学びや知識を得る力を、子どもの頃からの読書習慣の確立により育みます。

2. 基本方針

◆ 子どもが読書に親しむ機会の充実

全ての子どもが、家庭、地域、学校等で読書に親しむきっかけとなる機会を提供し、「家読（うちどく）」や読書習慣の定着を図ります。

◆ 子どもの読書環境の整備・充実

全ての子どもが、気軽に多様な本を手にとれる読書環境づくりを推進します。

◆ 子どもの読書活動に関する連携体制の構築

家庭、地域、学校で連携し、子どもの読書活動に対する意義を共有し、社会全体で考え支える体制を構築します。

3. 子どもの読書活動に係る目標数値

基本方針	具体的な取組	現状(R5)	目標(R11)
子どもが読書に親しむ機会の充実	(1) ブックスタート事業の実施 (参加組数及び参加率)	267組 95.4%	300組 97.0%
	(2) おはなし会の開催 (参加者数)	182人	220人
	(3) ブックトリップ～本の旅～の実施 (小・中学生の達成率)	47.1%	50.0%
	(4) 「としょかんたんけんたい」の実施 (参加者数)	40人	50人
子どもの読書環境整備の充実	(1) 児童向け、青少年向け資料整備 (貸出冊数、貸出者数)	35,777冊 10,258人	39,000冊 11,000人
	(2) 団体貸出しの充実 (貸出冊数)	3,760冊	6,000冊
	(3) 親子読書支援コンシェルジュ配置による事業展開 (参加者数)	965人	1,050人
	(4) 図書資料の展示、ブックリストの配布 (ブックリストの配布数)	4,171部	4,200部
子どもの読書活動に関する連携体制の構築	(1) 学校訪問の実施 (訪問学級数)	1年生の 全学級を訪問	1年生の 全学級を訪問
	(2) 県立富里特別支援学校との連携事業実施 (参加者数)	R5未実施	20人
	(3) とみさとふれあい講座の実施 (参加者数)	0人	20人
	(4) 学校司書との連絡調整会議開催 (開催回数)	毎月開催	毎月開催

本計画の達成状況等を確認するに当たり、目標とする数値等を定めました。

本計画の計画期間を令和7年度から5年間とし、令和11年度までの目標数値の達成を目指すこととします。